



平成 25 年 7 月 17 日  
横 浜 市  
東京急行電鉄株式会社

報道関係者 各 位

**「次世代郊外まちづくり」の 2013 年度リーディングプロジェクトの一つ  
「住民創発プロジェクト - シビックプライド・プロジェクト - 」  
がいよいよ動き出します。**

**「次世代郊外まちづくり」の基本方針・取り組みに合致する企画提案を、  
地域住民・地域団体・民間事業者の皆さまから広く募集し、その実現を支援します。  
8月3日(土)「たまプラーザ テラス」リンクプラザで募集説明会と基本構想説明会を開催します。**

横浜市と東京急行電鉄株式会社(以下「東急電鉄」という。)は、6月19日に発表した「次世代郊外まちづくり基本構想2013 東急田園都市線沿線モデル地区におけるまちづくりビジョン-」に基づき、今年度に取り組み8つのリーディングプロジェクトの一つに位置付けた「住民創発プロジェクト - シビックプライド・プロジェクト -」を開始します。

本プロジェクトは、元気で豊かなコミュニティや魅力的なまちの実現をテーマに、自分のまちに愛着や誇りを持って行動していただくための取り組みで、8つのリーディングプロジェクトの中でも地域にお住まいの方々に積極的にご参加いただけるプロジェクトです。

次世代郊外まちづくりのモデル地区である東急田園都市線たまプラーザ駅北側地区における「次世代郊外まちづくり」の基本方針・取り組みに合致し、自分のまちに愛着や誇りを持って地域の皆さまが行動していける企画提案を、地域住民やNPOをはじめとする活動団体、さらには民間事業者の皆さまから広く募集します。

その後、講評会を通過した企画提案に対して、次世代郊外まちづくりからの支援金交付(一つの企画提案につき、最大50万円)、専門家による支援体制、住民と民間事業者のマッチングなど、さまざまな方法を通じて、その活動を支援します。

これに伴い、8月3日(土)に、「次世代郊外まちづくりの基本構想」の内容を改めて地域の皆さまにお知らせする基本構想説明会を開催するとともに、企画提案の募集説明会をたまプラーザ地域ケアプラザ(「たまプラーザ テラス」リンクプラザ4階)で開催します。

#### <応募資格>

以下の条件をすべて満たす団体に限ります。

- ・3人以上の団体であること(法人も可)
- ・モデル地区(横浜市青葉区美しが丘1・2・3丁目)にお住まいの方、モデル地区内に将来住みたい方、モデル地区に愛着のある方、モデル地区のまちづくりに関わりたい方であること。
- ・講評会、活動報告会に必ず参加でき、その他の本プロジェクトの各種行事にも積極的に参加できること。

#### <対象となる企画提案>

以下の条件をすべて満たす企画提案を対象とします。

- ・企画提案の内容が、「次世代郊外まちづくり」の基本方針・取り組みに合致していること。
- ・企画提案の実施対象箇所が、モデル地区(横浜市青葉区美しが丘1・2・3丁目)を含んでいること。

「モデル地区の特性を踏まえ、課題解決に結びつけていること」「今後のまちづくり活動が期待されること」「対象地域への波及効果があること」などが審査時のポイントとなります。  
企業からのテーマ提案やマッチングもあります。

## <支援金>

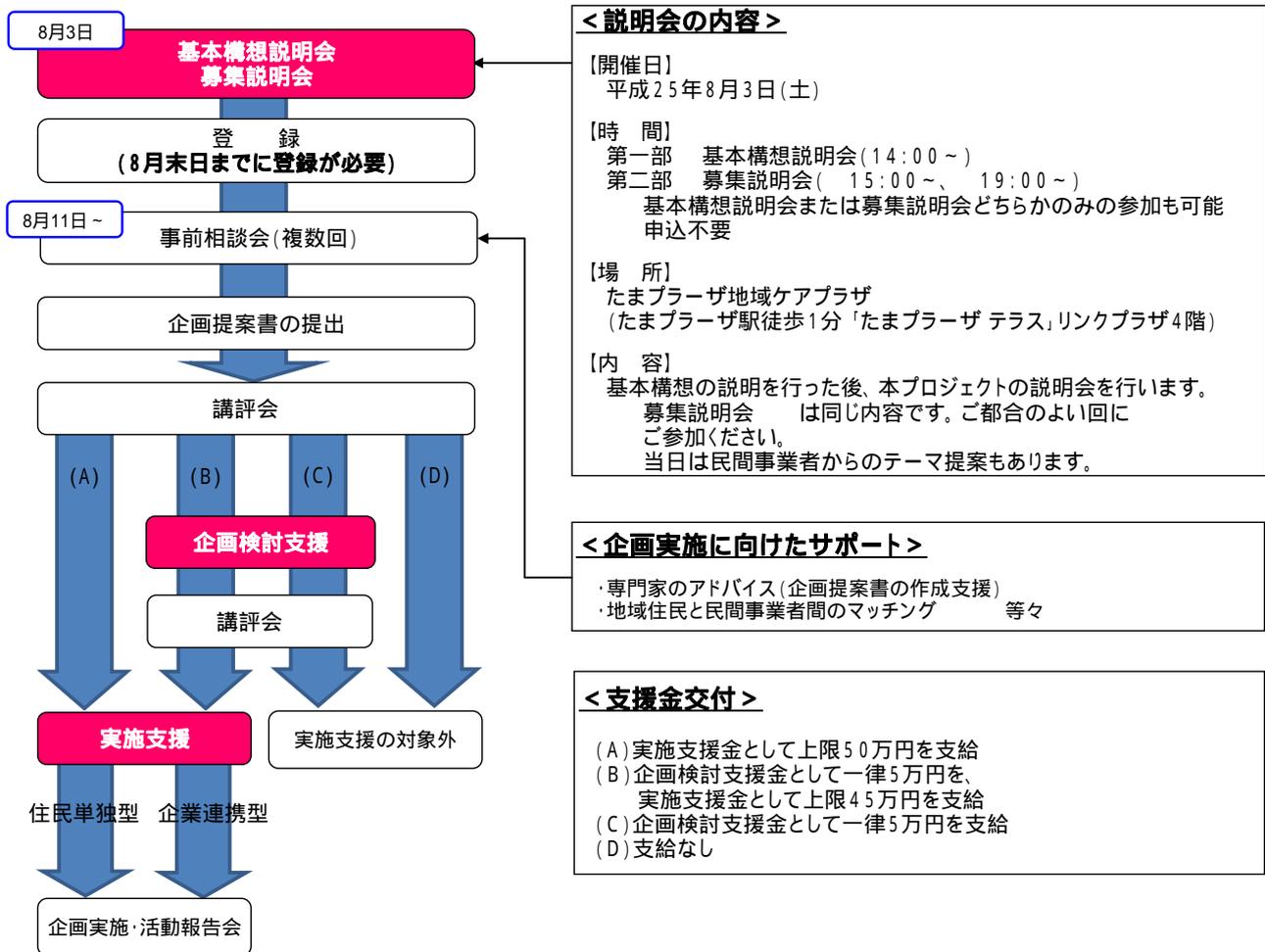
一つの企画提案につき、最大50万円を交付します。<住民創発プロジェクトの流れ>をご覧ください。

実施支援金 : 上限50万円

企画検討支援金 : 一律5万円

支援金を交付する団体数には限りがあります。

## <住民創発プロジェクトの流れ>



事業の概要・支援内容・募集要項などの詳細は、8月3日(土)の募集説明会で参加者にご説明します。

以上

## <参 考>

### 「次世代郊外まちづくり」・・・

次世代郊外まちづくりは、「既存のまちの持続、再生」を目的に、地域住民、行政、大学、民間事業者の連携・協働によって「暮らしのインフラ」と「住まい」を再構築し、少子社会、高齢社会のさまざまな課題を一体的に解決していくことを目指していく、従来にない参加型・課題解決型のまちづくり手法を進めるプロジェクトです。横浜市が推進している「環境未来都市」計画において、超高齢化対応の主要な取り組みである「持続可能な住宅地プロジェクト」として位置付けています。

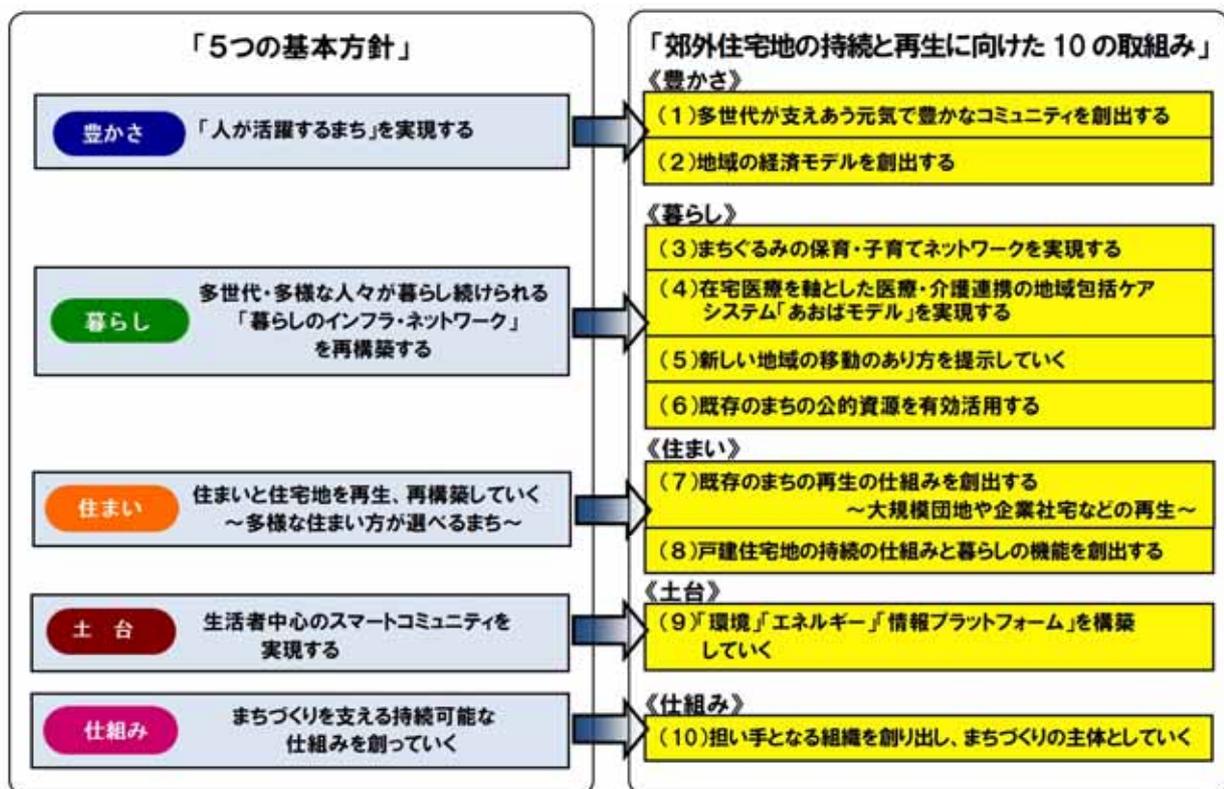
### 「モデル地区」・・・

次世代郊外まちづくりでは、東急田園都市線たまプラーザ駅北側地区（横浜市青葉区美しが丘1・2・3丁目）を第1号のモデル地区と定めています。

### 「次世代郊外まちづくり基本構想2013 東急田園都市線沿線モデル地区におけるまちづくりビジョン」

#### 「リーディングプロジェクト」・・・

「次世代郊外まちづくり基本構想」は、モデル地区におけるこれまでの討議や検討成果などを2013年度版として取りまとめたもので、6月19日に横浜市長から発表しました。横浜市内の東急田園都市線沿線の郊外住宅地において、「産・学・官・民」が連携して、良好な住宅地とコミュニティの持続・再生を目指すまちづくりに取り組んでいくためのビジョンとして、「5つの基本方針」<sup>1</sup>、「10の取り組み」<sup>2</sup>、そして今年度に取り組む「8つのリーディングプロジェクト」<sup>3</sup>を策定しています。



基本構想の実現に向けた第1歩 - 次世代郊外まちづくりリーディング・プロジェクト(2013) -

1 住民創発プロジェクト - シビックプライドプロジェクト -	10の取組(1)
2 住民の活動を支える仕組みと場づくり	10の取組(10)
3 家庭の節電プロジェクトとエコ診断	10の取組(9)
4 まちぐるみの保育・子育てネットワークづくり	10の取組(3)
5 地域包括ケアシステム「あおばモデル」パイロットプロジェクト	10の取組(4)
6 暮らしと住まいのランドデザイン(案案)の策定	10の取組(7)
7 「コミュニティ・リビング」モデル・プロジェクト - 企業社宅などの土地利用転換時における土地利用誘導 -	10の取組(7)
8 「次世代郊外まちづくり」建築性能推奨スペック策定 - 建物や施設に求められる性能や機能、建築推奨指針づくり -	10の取組(7)

「次世代郊外まちづくり」の詳細は、ホームページ (<http://jisedaikogai.jp>) をご覧ください。

以 上